

9 資格・副専攻・GCP(Global Challenge Program)

2021年度以降入学生

1. 資格	9-2
1.1 国際ボランティア実務士	9-2
1.2 生活園芸士	9-3
1.3 園芸療法士	9-4
2. 副専攻(2023年度以降入学生に適用)	9-5
2.1 キリスト教文化副専攻	9-6
2.2 国際平和副専攻	9-7
2.3 園芸文化副専攻	9-8
2.4 韓国語副専攻	9-9
3. GCP(Global Challenge Program)	9-10

2020年度以前入学生

1. 資格	9-11
1.1 国際ボランティア実務士	9-11
1.2 生活園芸士	9-12
1.3 園芸療法士	9-13
2. GCP(Global Challenge Program)	9-14

2021年度以降入学生・2020年度以前入学生共通

1. 指定講座受講により取得可能な資格	9-15
1.4 初級園芸福祉士	9-15
1.5 子育て支援員	9-15
1.6 日本語学習支援者養成講座	9-16

1. 資格

国際ボランティア実務士・生活園芸士・園芸療法士

1.1 国際ボランティア実務士

「国際ボランティア実務士」は、国際ボランティアに関する基礎知識・専門知識に加え、それに必要とされる技術と国際的に通用する実務能力を有し、国際ボランティア組織の中で運営やボランティア・コーディネートを担うことのできる実務者です。全国大学実務教育協会により認定されます。

1. 資格の取得条件は

必修科目及び選択科目を合わせて、26単位以上取得。(科目表を参照のこと。)

2. 履修の方法は

【履修する資格】

全学部学科の学生が履修することができます。

【履修の手続】

①希望者は、2～4年次の履修登録時に資格申請をしてください。

(申請すると「履修登録確認表」に、「国際ボランティア実務士」を履修中であることが表示されます。)

②卒業までに所定の単位を取得し、4年次の指定期日までに申請費用の払込をした場合に、資格が認定されます。

(期日は、@Kで連絡します)

*3年次以降の毎学期履修登録後、単位取得状況(仮判定結果)を教務課・窓口で確認できます。

3. 認定証について

認定証を授与されるためには「到達目標達成度評価表」により、学修成果をレベル5～レベル1で自己評価する必要があります。

卒業時に「認定証」を交付します。

交付申請には申請費用がかかります。(2022年度は7,700円)

*「到達目標達成度評価表」は、@K諸用紙印刷画面よりダウンロードが可能です。

科目表

領域	授業科目名	必修/ 選択	単位数	科目区分	配当年次	
領域1	国際ボランティア論特講	必修	2	IS専門応用	3	
	国際協力論Ⅱ (NGO・NPO)	必修	2	IS専門基礎	2	
	平和研究入門Ⅰ、Ⅱ	必修	2	恵泉基礎	1	
	国際協力論Ⅰ (ODA論)	選択	2	IS専門基礎	2	
	国際人権論		2	IS専門基礎	2	
	国際経済論		2	EC・IS専門基礎	1	
	国際政治学		2	EC・IS専門基礎	1	
ITスキルⅠ、Ⅱ	2		共通生涯就業力	1		
領域2	国際ボランティアの実務と組織マネジメント、開発に関する様々なアプローチについての基礎知識及びコミュニケーション力の領域	国際ボランティア組織論	必修	2	IS専門応用	3
	社会開発論	必修	2	IS専門応用	3	
	英語Ⅰ、Ⅱ	必修	4	語学	1	
	文化人類学入門	必修	2	学部専門導入	1	
	社会調査方法論	選択	2	全学専門特殊	1	
	開発教育		2	IS専門応用	3	
領域3	国際ボランティアの総合的実務実践力と学修継続力の領域	フィールドスタディ(Ⅰ又はⅡ)	必修	2	全学専門特殊	2
	コミュニティサービラーニングⅠ	選択	2	全学専門特殊	2	
	表現力実践		2	共通生涯就業力	1	

必修18単位+選択8単位以上=26単位以上

1.2 生活園芸士

「生活園芸士」は、園芸(ガーデニング)に関する一定の専門的知識と技能を有し、自らの家庭菜園づくりに留まらず、地域のガーデンづくりの啓蒙と普及にあたり、ガーデンコミュニティやガーデンシティーづくりに貢献できる中等程度のスペシャリストです。全国大学実務教育協会により認定されます。

1. 資格の取得条件は

必修科目及び選択必修科目を合わせて、20単位以上取得。(科目表を参照のこと。)

2. 履修の方法は

【履修する資格】

全学部学科の学生が履修することができます。

【履修の手続】

①希望者は、2～4年次の履修登録時に資格申請をしてください。

(申請すると「履修登録確認表」に、「生活園芸士」を履修中であることが表示されます。)

②卒業までに所定の単位を取得し、4年次の指定期日までに申請費用の払込をした場合に、資格が認定されます。(期日は、@Kで連絡します)

※3年次以降の毎学期履修登録後、単位取得状況(仮判定結果)を教務課・窓口で確認できます。

3. 認定証について

認定証を授与されるためには「到達目標達成度評価表」により、学修成果をレベル5～レベル1で自己評価する必要があります。

卒業時に「認定証」を交付します。

交付申請には費用がかかります。(2022年度は5,500円)

※「到達目標達成度評価表」は、@K諸用紙印刷画面よりダウンロードが可能です。

科目表

領域	開発する能力	授業科目名	必修/選択	単位数	科目区分	配当年次
領域1 生活園芸の基礎となる知識・技術の領域	園芸学基礎知識	園芸学基礎	必修	2	PH専門基礎	2
		園芸文化Ⅰ(花・ガーデン)またはⅡ(野菜・果樹)	必修	2	PH専門基礎	2
	植物・資材の基礎知識	有機農業とアグロエコロジー	選択	2	PH専門基礎	2
		花壇ボランティア論		2	PH専門基礎	2
	園芸全般にわたる知識・技術と実践力	専門演習Ⅰ(PH園芸系)	2	3年ゼミ	3	
		専門演習Ⅱ(PH園芸系)	2	3年ゼミ	3	
領域2 生活園芸の専門知識・技術の領域	生活・社会に関わる園芸の専門知識	社会園芸論	必修	2	PH専門基礎	2
		ヒトと植物の関係学	選択	2	PH専門応用	3
	欧米の園芸芸術	2		EC・IS・PH専門基礎	2	
	日本の園芸芸術	2		JL・PH専門基礎	2	
	環境デザイン	2		PH専門基礎	2	
	装飾・活用手法	環境デザイン実習	2	PH専門基礎	2	
生活園芸の総合的実務実践力と学習継続の力		生活園芸Ⅰ(春)	必修	1	恵泉基礎	1
領域3 生活園芸の総合的実務実践力と学習継続の力	生活園芸の総合的実務実践力	生活園芸Ⅰ(秋)	必修	1	恵泉基礎	1
		生活園芸Ⅱ(春)	必修	2	共通教養・園芸	2
		生活園芸Ⅱ(秋)	必修	2	共通教養・園芸	2
		必修12単位+選択8単位以上=合計20単位以上				

1.3 園芸療法士(資格取得支援)

恵泉女学園大学では「日本園芸療法学会認定園芸療法士」の資格取得支援をしています。

園芸療法士は、植物や園芸作業をリハビリテーションに活用し、病や障害と共に生きる方への心身機能の維持向上、社会参加の支援をします。幅広い園芸の知識と栽培技術、心理学、福祉、医療、リハビリテーションなど人を支援するための知識が求められます。

1. 資格の取得条件は

①必修科目16科目すべてを履修。(科目表を参照のこと) ※園芸療法の学びを深めるため選択科目の履修をお勧めします。

②500時間以上の園芸療法実践実習

2. 履修の方法は

【履修する資格】 全学部学科の学生が履修することができます。

【履修の手順】

①希望者は、1～4年次の履修登録時に必要な科目を登録して下さい。

②園芸療法担当教員に相談をし、計画的に実践実習に参加してください。

3. 資格試験について

4年次に履修科目、実習時間を取得し、学会の資格申請に必要な書類を担当教員に提出し、受験します。(2022年度は1月13日申請締切、2月26日試験) 申請時には日本園芸療法学会に入会(学生会員3,000円)する必要があります。また資格試験に際して受験料(2022年度10,000円)を学会に支払います。

4. 認定証について 合格通知及び認定証は学会から直接送られます。

5. 問い合わせ先 教務課：カウンター 担当教員：澤田みどり先生(研究室J316)

学会認定200時間以上の座学

<必修科目表>必修16科目取得

分野	単位数	区分	本学開講科目	配当年次	備考
園 芸 法	2	必修	園芸療法入門	1	1年生秋学期から履修可能
	2	必修	園芸療法基礎Ⅰ	2・3・4	園芸療法入門履修後2年生春学期に履修
	2	必修	園芸療法基礎Ⅱ	2・3・4	園芸療法基礎Ⅰ履修後、2年生秋学期に履修
園 芸 学	1	必修	生活園芸Ⅰ(春)、(秋)	1	
	2	必修	生活園芸Ⅱ(春)、(秋)	2	
	2	必修	園芸学基礎	2	
	2	必修	ヒトと植物の関係学	3・4	
医 療 ・ 福 祉	2	必修	花と生活入門	1	
	2	必修	心理学入門	1	
	2	必修	臨床心理学	3	
	2	必修	社会福祉論	1	
	2	必修	リハビリテーション	3	
	2	必修	対人援助論	3	
こ ま な し	2	必修	ボランティア論	1	
	2	必修	園芸療法実践Ⅰ(恵泉土曜園芸クラブ)	3	園芸療法入門修得者
	2	必修	園芸療法実践Ⅱ(恵泉土曜園芸クラブ)	3	園芸療法基礎Ⅰ・Ⅱと同時履修可

<その他履修推薦科目>園芸療法の理解を深めるため履修をお勧めします

単位数	区分	本学開講科目	配当年次	備考
2	選択	園芸と人間形成	3	
2	選択	花壇ボランティア論	2	
2	選択	高齢者福祉論	3	
2	選択	発達心理学	2	
2	選択	サービスマーケティング方法論	1	
2	選択	園芸療法応用Ⅰ	3	園芸療法基礎Ⅰ・Ⅱ修得者
2	選択	園芸療法応用Ⅱ	3	

※配当年次以上の学年であれば履修可能です

副専攻 (2023年度以降入学生に適用)

副専攻

1年次に学ぶ共通教養科目には、恵泉女学園大学の理念である「聖書」「国際」「園芸」に関するものが含まれています。これらの学びを通して持った関心をさらに深めるために、「副専攻」が設けられました。学園の理念に関わる重要なテーマについて、さらに専門的に知識を深めることができます。

ただし、副専攻は卒業要件ではありませんので、履修する、しないは自由です。

1. 副専攻とは

あなたが所属学科で学ぶ専門分野を、「主専攻」といいます。それに対して「副専攻」は、所属学科での学びと並行しながら、さらに学科の枠組みを超えた別の分野についても体系的に学習できる制度です。

2. 副専攻の種類は

「キリスト教文化」「国際平和」「園芸文化」「韓国語」の4つの副専攻があります。

3. 履修の方法は

【履修する資格】

全学部学科の学生が履修することができます。

【履修の手続】

①希望者は、1～4年次の履修登録時に、副専攻の資格申請をしてください。

(申請すると「履修登録確認表」に、副専攻を履修中であることが表示されます。)

②卒業までに副専攻の科目群から、合計20単位(韓国語副専攻は24単位)を取得すると、副専攻の修了が認定されます。

詳しくは副専攻科目表を参照してください。

【履修上の注意】

「韓国語副専攻」の科目群については、科目表にある科目のうち24単位以上を取得するほか、TOPIK4級の取得が必須となります。

4. 修了証について

卒業時に「修了証」を交付します。

※2022年度以前カリキュラム学生についても、取得科目が要件を満たした場合には申請により資格取得が可能といたします。

2.1 キリスト教文化副専攻

科目名	単位	配当年次	分類	必修/選択必修
キリスト教教学入門Ⅰ	1	1	恵泉基礎	必修
キリスト教教学入門Ⅱ	1	1	恵泉基礎	必修
現代社会とキリスト教	2	1・2	共通教養：キリスト教と考え方	必修
恵泉学	2	2	共通教養：キリスト教と考え方	必修

キリスト教と芸術	2	1・2	共通教養：キリスト教と考え方	選択必修8単位以上
キリスト教と文学	2	1・2	共通教養：キリスト教と考え方	
キリスト教と福祉	2	1・2	共通教養：キリスト教と考え方	
女性とキリスト教	2	1・2	共通教養：キリスト教と考え方	
倫理・哲学	2	1・2	共通教養：キリスト教と考え方	
人権論	2	1・2	共通教養：平和と社会	

宗教学入門	2	1・2	学部専門導入	選択必修6単位以上
比較宗教文化論Ⅰ	2	2	EC/IS専門基礎	
比較宗教文化論Ⅱ	2	2	EC/IS専門基礎	
宗教学特講	2	3	IS専門応用	
ワークキャンプⅠ	2	1	全学専門特殊	
ワークキャンプⅡ	2	2	全学専門特殊	
—	30	—	—	—
合計20単位以上				

2.2 国際平和副専攻

科目名	単位	配当年次	分類	必修/選択必修
平和研究入門Ⅰ	1	1	恵泉基礎	必修
平和研究入門Ⅱ	1	1	恵泉基礎	必修
ヒロシマ・ナガサキ学	2	1・2	共通教養：平和と社会	選択必修4単位以上
人権論	2	1・2	共通教養：平和と社会	
ボランティア論	2	1・2	共通教養：平和と社会	
暮らしと政治	2	1・2	共通教養：平和と社会	
歴史Ⅱ(日本と世界)	2	1・2	学部専門導入	
国際関係入門	2	1・2	学部専門導入	
文化人類学入門	2	1・2	学部専門導入	

国際政治学	2	1・2	IS専門基礎	選択必修8単位以上
国際人権論	2	2	IS専門基礎	
国際協力論Ⅰ(OODA論)	2	2	IS専門基礎	
国際協力論Ⅱ(NGO・NPO論)	2	2	IS専門基礎	
地域研究Ⅰ(アジア社会文化論)	2	2	IS専門基礎	
地域研究Ⅳ(子どもの権利)	2	2	IS専門基礎	
地域研究Ⅴ(国際機構論)	2	2	IS専門基礎	
地域研究Ⅵ(アジアの新しい貧困)	2	2	IS専門基礎	
多民族共生論	2	2	IS専門基礎	
社会保障論	2	2	IS専門基礎	
女性労働論	2	2	IS専門基礎	
持続可能社会論	2	2	PH専門基礎	
有機農業とアグロエコロジー	2	2	PH専門基礎	

平和学特講Ⅰ	2	3・4	IS専門応用	選択必修6単位以上
平和学特講Ⅱ	2	3・4	IS専門応用	
アジア文化特講Ⅰ	2	3・4	IS専門応用	
アジア文化特講Ⅱ	2	3・4	IS専門応用	
国際ボランティア論特講	2	3・4	IS専門応用	
近隣アジア学特講Ⅰ(近隣アジア史)	2	3・4	IS専門応用	
近隣アジア学特講Ⅱ(近隣アジアの政治と外交)	2	3・4	IS専門応用	
社会開発論	2	3・4	IS専門応用	
開発教育	2	3・4	IS専門応用	
平和構築実践論	2	3・4	IS専門応用	
持続可能社会論特講	2	3・4	PH専門応用	
—	64	—	—	
合計20単位以上				

2.3 園芸文化副専攻

科目名	単位	配当年次	分類	必修/選択必修
生活園芸Ⅰ(春)	1	1	恵泉基礎	必修
生活園芸Ⅰ(秋)	1	1	恵泉基礎	必修
生活園芸Ⅱ(春)	2	2	共通教養：園芸と生活	選択必修4単位以上
生活園芸Ⅱ(秋)	2	2	共通教養：園芸と生活	
英語で学ぶガーデニング	1	1・2	学部専門導入	
園芸療法入門	2	1・2	学部専門導入	

園芸文化Ⅰ(花・ガーデン)	2	2	PH専門基礎	選択必修2単位以上	左記区分合計8単位以上
園芸文化Ⅱ(野菜・果樹)	2	2	PH専門基礎		
園芸学基礎	2	2	PH専門基礎	選択必修4単位以上	
日本の園芸芸術	2	2	PH専門基礎		
欧米の園芸芸術	2	2	PH専門基礎		
持続可能社会論	2	2	PH専門基礎		
有機農業とアグロエコロジー	2	2	PH専門基礎		
花壇ボランティア論	2	2	PH専門基礎		
カラーコーディネート	2	2	PH専門基礎		
環境デザイン	2	2	PH専門基礎		
環境デザイン実習	2	2	PH専門基礎		
社会園芸実践法	2	2	PH専門基礎		
社会園芸実践Ⅰ	2	2	PH専門基礎/全学専門基礎		
社会園芸実践Ⅱ	2	2	PH専門基礎/全学専門基礎		

ヒトと植物の関係学	2	3・4	PH専門応用	選択必修6単位以上
生活園芸経済論	2	3・4	PH専門応用	
園芸と人間形成	2	3・4	PH専門応用	
園芸文化特講Ⅰ(庭園)	2	3・4	PH専門応用	
園芸文化特講Ⅱ(食農)	2	3・4	PH専門応用	
国際農業・農村開発論	2	3・4	PH専門応用	
—	50	—	—	—
合計20単位以上				

2.4 韓国語副専攻

科目名	単位	配当年次	分類	必修/選択必修
平和研究入門Ⅰ	1	1	恵泉基礎	必修
平和研究入門Ⅱ	1	1	恵泉基礎	必修
日本国憲法	2	1・2	共通教養：平和と社会	選択必修2単位以上
人権論	2	1・2	共通教養：平和と社会	
ボランティア論	2	1・2	共通教養：平和と社会	
歴史Ⅱ(日本と世界)	2	1・2	学部専門導入	

国際政治学	2	1・2	IS専門基礎	選択必修2単位以上
国際人権論	2	2	IS専門基礎	
国際協力論Ⅱ(NGO・NPO論)	2	2	IS専門基礎	
地域研究Ⅰ(アジア社会文化論)	2	2	IS専門基礎	
地域研究Ⅵ(アジアの新しい貧困)	2	2	IS専門基礎	

アジア文化特講Ⅰ	2	3・4	IS専門応用	選択必修6単位以上
アジア文化特講Ⅱ	2	3・4	IS専門応用	
近隣アジア学特講Ⅰ(近隣アジア史)	2	3・4	IS専門応用	
近隣アジア学特講Ⅱ(近隣アジアの政治と外交)	2	3・4	IS専門応用	
日本の憲法と政治	2	3・4	IS専門応用	
短期FS(東アジア)	事前・実習・事後計6単位	2・3・4	全学専門特殊科目	

韓国語Ⅰ	2	1	共通語学：第二外国語	必修
韓国語Ⅱ	2	1	共通語学：第二外国語	必修
ステップアップ語学Ⅰ(韓国語)	2	2	キャリアスキル(選必スキル)	選択必修2単位以上
ステップアップ語学Ⅱ(韓国語)	2	2	キャリアスキル(選必スキル)	以上
短期外国語現地実習Ⅰ～Ⅳ	2	1・2	語学(自由)	選択必修6単位以上
外国語現地実習Ⅰ～Ⅵ	2	2	語学(自由)	以上
—	48	—	—	—
合計 24単位以上				

TOPIK4級	2	2	キャリアスキル(選必スキル)	必修 ※
---------	---	---	----------------	------

※上記24単位とは別に必須

3. GCP (Global Challenge Program)

英語力を駆使して世界の人々と円滑にコミュニケーションをとり、グローバル社会と深く関わりたいと考える学生に向けた選抜プログラムです。様々な活動を通して、英語をコミュニケーション・ツールとして使いこなす能力を段階的に養います。

【選抜方法】入学時に行われるプレメントテストと面接によって選抜します。1年次秋学期からの参加を希望する場合は、春学期・英語の担当教員からの推薦書が必要です。

【GCP科目の履修方法】GCP修了のためには、以下のGCP科目の中から、★で示した必修のGCPコア科目4科目(上限枠外科目)を含めて最低9科目を履修し(各科目それぞれ1単位)、9単位以上を取得する必要があります。

<必修科目(GCPのみ)> * 上限枠外科目

科目名	分野	配当学年	学期	コア科目
Advanced Presentation	語学(自由)	2・3	秋	★
GCP English Discussion and Debate	語学(自由)	2・3	春	★
Advanced Reading & Writing	語学(自由)	2	秋	★
Project English-Camp	全学特殊(全域)	1・2	集中	
キャリアスキル対策講座Ⅰ	キャリアスキル選必	1	春	
キャリアスキル対策講座Ⅱ	キャリアスキル選必	1	春・秋	
Project English-Career	キャリアスキル選必	2・3	春	
English Discussion and Debate-Career	キャリアスキル選必	2・3	秋	
Self Directed Learning Ⅰ	語学(自由)	1	春	★
Self Directed Learning Ⅱ	語学(自由)	1	秋	
Self Directed Learning Ⅲ	語学(自由)	2	春	
Self Directed Learning Ⅳ	語学(自由)	2	秋	

<必修科目(共通)> * 上限枠内科目

英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(共通必修科目)はGCP向けのクラスで履修します。

<留学>

在学中に必ず一回は、海外研修に参加することが望まれます。

<その他履修推薦科目>

異文化コミュニケーション、Business EnglishⅠ・Ⅱ、Communicative Grammar、Talks and Presentations、Academic Reading and Writing、Online Communication、Academic WritingⅠ・Ⅱ、Discussion & Debate、ピースポートなど

<プロジェクト・アクティビティ・Achievements>

- 各授業で様々なプロジェクトやアクティビティ参加の機会があります。積極的な参加が望まれます。
- TOEICスコア650以上(あるいは別資格試験の同等レベル)を達成してください。

1. 資格

国際ボランティア実務士・生活園芸士・園芸療法士

1.1 国際ボランティア実務士

「国際ボランティア実務士」は、国際ボランティアに関する基礎知識・専門知識に加え、それに必要とされる技術と国際的に通用する実務能力を有し、国際ボランティア組織の中で運営やボランティア・コーディネートを担うことのできる実務者です。全国大学実務教育協会により認定されます。

1. 資格の取得条件は

必修科目及び選択科目を合わせて、30単位以上取得。(科目表を参照のこと。)

2. 履修の方法は

【履修する資格】

全学部学科の学生が履修することができます。

【履修の手続】

①希望者は、2～4年次の履修登録時に資格申請をしてください。

(申請すると「履修登録確認表」に、「国際ボランティア実務士」を履修中であることが表示されます。)

②卒業までに所定の単位を取得し、4年次の指定期日までに申請費用の払込をした場合に、資格が認定されます。

(期日は、@Kで連絡します)

※3年次以降の毎学期履修登録後、単位取得状況(仮判定結果)を教務課・窓口で確認できます。

3. 認定証について

卒業時に「認定証」を交付します。

交付申請には申請費用がかかります。(2022年度は7,700円)

科目表

	規程科目名	単位数	区分	本学開講科目	配当年次	備考
国際 ボランティア	国際ボランティア論	2	必修	国際ボランティア論	3・4	
	国際援助技術論	2	必修	社会開発論	3・4	
	情報処理	2	必修	情報科学基礎Ⅰ、Ⅱ	1	
	海外ボランティア演習	2	必修	フィールドスタディⅠ入門	2～4	
	海外ボランティア実習	2	必修	フィールドスタディⅠ	2～4	
英語	英会話Ⅰ	2	必修	英語Ⅰ	1	
	英会話Ⅱ	2	必修	英語Ⅱ	1	
	実用英語	2	選択必修 2単位以上	Current Affairs Reading	2	
		2	The World through Media	2		
国際 援助	国際ボランティア組織論	2	8 単位 以上 選択 必修	国際ボランティア組織論	3・4	
	NGO・NPO論	2		NGO・NPO論	2	
	国際社会福祉論	2		社会保障論	2	
	国際人権論	2		国際人権論	2	
	国際政治	2		国際政治学	2	
	国際開発論	2		開発教育	3・4	
英語 以外の 外国語・ 日本事 情及び 国際 関係 論系	外国語Ⅰ	2	6 単位 以上 選択 必修	第二外国語科目Ⅰ	1	
	外国語Ⅱ(Ⅰと同一の外国語)	2		第二外国語科目Ⅱ	1	
		2		政治学概論	1・2	
	大学で設置する日本事情 及び国際関係論系科目	2		国際関係入門	1・2	
		2		ヨーロッパの歴史	1・2	
		2	アジアの歴史	1・2		
合計					30単位以上	

1.2 生活園芸士

「生活園芸士」は、園芸(ガーデニング)に関する一定の専門的知識と技能を有し、自らの家庭菜園づくりに留まらず、地域のガーデンづくりの啓蒙と普及にあたり、ガーデンコミュニティやガーデンシティーづくりに貢献できる中等程度のスペシャリストです。全国大学実務教育協会により認定されます。

1. 資格の取得条件は

必修科目及び選択必修科目を合わせて、22単位以上取得。(科目表を参照のこと。)

2. 履修の方法は

【履修する資格】

全学部学科の学生が履修することができます。

【履修の手続】

①希望者は、2～4年次の履修登録時に資格申請をしてください。

(申請すると「履修登録確認表」に、「生活園芸士」を履修中であることが表示されます。)

②卒業までに所定の単位を取得し、4年次の指定期日までに申請費用の払込をした場合に、資格が認定されます。(期日は、@Kで連絡します)

※3年次以降の毎学期履修登録後、単位取得状況(仮判定結果)を教務課・窓口で確認できます。

3. 認定証について

卒業時に「認定証」を交付します。

交付申請には費用がかかります。(2022年度は5,500円)

科目表

規程科目名	単位数	区分	本学開講科目	配当年次	備考	
園芸論	2	必修	園芸学基礎	2		
ガーデニング概論	2	必修	ヒトと植物の関係学	3・4		
ガーデニング実習Ⅰ	1	必修	生活園芸Ⅰ(春)	1		
	1	必修	生活園芸Ⅰ(秋)	1		
ガーデニング実習Ⅱ	2	必修	生活園芸Ⅱ(春)	2		
	2	必修	生活園芸Ⅱ(秋)	2		
土壌・肥料論	2	選択必修 12単位以上	水と土の環境論	2		
育苗実習・家庭菜園	2		学科(多文化)コース専門演習Ⅰ	3		
	2		学科(多文化)コース専門演習Ⅱ	3		
コンテナガーデン・ハーブ園芸	2		学科(多文化)コース専門演習Ⅰ	3		
	2		学科(多文化)コース専門演習Ⅱ	3		
ビジネス園芸	2		生活園芸経済論	3・4		
小果樹園芸	2		園芸文化論(食用作物)	2		
エクステリア	2		環境デザイン	2		
	2		環境デザイン実習	2		
花押図	2		花と生活入門	2		
				合計	22単位以上	

※生活園芸士の資格の取得を目指す学生は「学科コース専門演習Ⅰ」、「学科コース専門演習Ⅱ」を履修する際に、PH園芸系の先生から選んで履修すること。

1.3 園芸療法士(資格取得支援)

恵泉女学園大学では「日本園芸療法学会認定園芸療法士」の資格取得支援をしています。

園芸療法士は、植物や園芸作業をリハビリテーションに活用し、病や障害と共に生きる方への心身機能の維持向上、社会参加の支援をします。幅広い園芸の知識と栽培技術、心理学、福祉、医療、リハビリテーションなど人を支援するための知識が求められます。

1. 資格の取得条件は

①必修科目16科目すべてを履修。(科目表を参照のこと) ※園芸療法の学びを深めるため選択科目の履修をお勧めします。

②500時間以上の園芸療法実践実習

2. 履修の方法は

【履修する資格】 全学部学科の学生が履修することができます。

【履修の手順】

①希望者は、1～4年次の履修登録時に必要な科目を登録して下さい。

②園芸療法担当教員に相談をし、計画的に実践実習に参加してください。

3. 資格試験について

4年次に履修科目、実習時間を取得し、学会の資格申請に必要な書類を担当教員に提出し、受験します。(2022年度は1月13日申請締切、2月26日試験)

申請時には日本園芸療法学会に入会(学生会員3,000円)する必要があります。また資格試験に際して受験料(2022年度10,000円)を学会に支払います。

4. 認定証について 合格通知及び認定証は学会から直接送られます。

5. 問い合わせ先 教務課：カウンター 担当教員：澤田みどり先生(研究室J316)

学会認定200時間以上の座学

<必修科目表>必修16科目取得

分野	単位数	区分	本学開講科目	配当年次	備考
園芸療法	2	必修	園芸療法入門	2	2年生春学期から履修可能
	2	必修	園芸療法基礎	3	園芸療法入門履修後3年生春学期に履修
	2	必修	園芸療法実践応用	3・4	園芸療法基礎履修後、3年生秋学期に履修
園芸学	2	必修	生活園芸Ⅰ(春)、(秋)	1	
	2	必修	生活園芸Ⅱ(春)、(秋)	2	
	2	必修	園芸学基礎	2	
	2	必修	ヒトと植物の関係学	3・4	
医療・福祉	2	必修	花と生活入門	2	
	2	必修	心理学基礎	1・2	
	2	必修	臨床心理学	3・4	
	2	必修	社会福祉入門	1・2	
メンタル	2	必修	リハビリテーション	3・4	
	2	必修	対人援助論	3・4	
	2	必修	ボランティア入門	1・2	
	2	必修	社会園芸応用実践Ⅰ(恵泉土曜園芸クラブ)	2・3・4	園芸療法入門履修以降に履修可能
	2	必修	社会園芸応用実践Ⅱ(恵泉土曜園芸クラブ)	3・4	

<その他履修推薦科目>園芸療法の理解を深めるため履修をお勧めします

単位数	区分	本学開講科目	配当年次
2	選択	園芸と人間形成	3・4
2	選択	花壇ボランティア論	2
2	選択	高齢者福祉論	3・4
2	選択	発達心理学	2
2	選択	心理学概論	1・2
2	選択	社会福祉論	1・2
2	選択	サービスマーケティング方法論	1・2

2. GCP (Global Challenge Program)

英語力を駆使して世界の人々と円滑にコミュニケーションをとり、グローバル社会と深く関わりたいと考える学生に向けた選抜プログラムです。多様な活動を通して、英語をコミュニケーション・ツールとして使いこなす能力を段階的に養います。

選抜方法：入学時に行われるプレメントテストと面接によって選抜します。1年次秋学期からの参加を希望する場合は、春学期・英語Ⅰの担当教員からの推薦書が必要です。

<必修科目(GCPのみ)> *上限枠外科目

学年	セメスター	登録科目名	科目名	分野	単位
1	1	GCP English-Career I	English Test Taking I	キャリアB	1
1	1	GCP English I	Project English I (Summer Camp)	語学B	1
1	1	GCP English II	Self-Directed Learning (SDL) I	語学B	1
1	2	GCP English III	Advanced Presentation	語学B	1
1	2	GCP English-Career II	English Test Taking II	キャリアB	1
1	2	GCP English IV	Self-Directed Learning (SDL) II	語学B	1
2	3	GCP English V	English Discussion and Debate I	語学B	1
2	3	GCP English-Career III	Project English II	キャリアB	1
2	3	GCP English VI	Self-Directed Learning (SDL) III	語学B	1
2	4	GCP English VII	Advanced Reading & Writing	語学B	1
2	4	GCP English-Career IV	English Discussion and Debate II	キャリアB	1
2	4	GCP English VIII	Self-Directed Learning (SDL) IV	語学B	1
合計					12

<必修科目(共通)> *上限枠内科目

教養基礎演習Ⅰ・Ⅱ、英語Ⅰ・Ⅱ(GCPクラス)

<留学>

在学中に必ず一回は、海外研修に参加することが望まれます。

<その他履修推薦科目>

コミュニケーション実践Ⅰ・Ⅱ、英文基礎購読、英文基礎作文、Gardening in English、English for International Communication、Business EnglishⅠ・Ⅱ、Reading and Discussion、Academic Writing、Business Communication、Speech & Communication、Discussion and Debate、TOEIC講座、TOEFL講座、ピースポートなど

<プロジェクト・アクティビティ>

各授業で様々なプロジェクトやアクティビティ参加の機会があります。積極的な参加が望まれます。

2021年度以降入学生・2020年度以前入学生共通

1. 指定講座受講により取得可能な資格

初級園芸福祉士・子育て支援員・日本語学習支援者養成講座

1.4 初級園芸福祉士

園芸福祉とは「花や緑を育てて、みんなで幸せになろう！」一言で言えばこれが園芸福祉活動です。介護、福祉、医療、教育、子育て、環境、農業、地域・街づくりなど幅広い分野で取り組まれています。こうした園芸福祉活動を担っているのが園芸福祉士です。

現在、初級園芸福祉士約2000名、園芸福祉士約300名が全国各地で活躍しています。

【資格の取得条件】

本学で開催される2日間の初級園芸福祉士養成講座を受講し、認定試験を受験し、合格し、協会に登録手続きをすると初級園芸福祉士に認定されます。

その後活動を2年以上行い、年間活動アンケートを2回以上提出していること、資格更新を1回以上行うことなどの条件をクリアし、園芸福祉士資格審査に合格することで園芸福祉士に認定されます。

※初級園芸福祉士として活動するためには、試験合格後に日本園芸福祉普及協会への登録が必要です。(登録有効期限なし、登録料必要)

資格有効期限3年(以後、5年)

【講座開催日】(詳細については、決定次第@Kでお知らせいたします。)

講座：9月の二日間予定

認定試験：翌年の2月予定

定員：20名(定員になり次第締切)

【問い合わせ先】

担当教員 澤田みどり先生(研究室J316)

1.5 子育て支援員

「子育て支援員」は、地域の子育て支援や一時保育等に従事できる厚生労働省認定資格です。

「子育て支援員研修」(NPO法人あい・ぼーとステーション、自治体との協働で開催)を受講し、全課程を修了することで資格が得られます。「子育て支援員研修」は、乳幼児教育・保育の全国レベル第一線の講師陣からなる充実した講座(オンデマンドと対面(社会状況によってはZoom))と、保育所や子育て支援施設等での実習で構成されています。

1. 資格の取得条件は

「子育て支援員研修」の講座及び実習の全課程を修了すること。

2. 履修の方法は

【履修する資格】

全学部学科2年生以上の学生が履修することができます。

【履修の手続き】

- ①「子育て支援員研修」募集要項を確認し、各自で申込を行います。
受講料は無料。ただしテキスト代、心肺蘇生法の教材費等として5000円程度必要です。
- ②「子育て支援員研修」の講座及び実習の全課程に出席してください。
- ③「子育て支援員研修」の全課程修了後、大学での履修登録を行ってください。原則翌学期に成績単位が付くこととなります。
- ④履修科目名
「子育て支援実践Ⅰ(子育て支援員)」(2021年度以降カリキュラム)
「社会園芸応用実践Ⅰ」(担当：丸橋先生)(2020年度以前カリキュラム)
- ⑤認定証・修了証のコピーを担当教員(丸橋先生)に提出してください。

3. 認定証・修了証について

「子育て支援員研修」修了式にて交付されます。

「子育て支援員研修」受講の注意

※4年生秋学期に受講する場合は、担当教員まで連絡してください。

秋学期中に「子育て支援員研修」の全課程を修了しきれない可能性もあります。卒業必要単位に余裕をもって履修をしてください。

※単位認定の対象となる「子育て支援員研修」は、「多摩市」「港区」「千代田区」で実施されます。それぞれ開講時期が異なります。@k で案内しますので定期的に確認してください。

※募集開始時に担当教員による説明会が行われますので、必ず参加してください。

※学外でのやり取りも多くなります。メールをこまめに確認し、期日やルールを守って受講してください。

1.6 日本語学習支援者養成講座

※講座を受講すると、「修了証」が授与されます。

1. どんな資格ですか？

地域の日本語教室などで、日本語非母語話者(外国人)の日本語学習支援ができるようになる資格です。(国家資格ではありません。)

2. 資格の取得条件

9月以降の土曜日に開講される講座(計15コマ)を受講すると、修了証が授与されます。(出席要件あり)

3. 対象者

全学部3年生以上

日本語教育、多文化共生、外国人支援などに興味がある人

*この講座は恵泉女学園大学と多摩市国際交流センターとの連携で行いますので、一般の方や卒業生とも一緒に学ぶことができます。

4. 受講の方法

6月頃に@Kで受講生を募集しますので、申し込みをしてください。

5. 費用はどれくらいかかりますか？

本学学生は無料で受講することができます。(但し、教材費等の実費は必要です。)

6. 問い合わせ窓口

庶務課・教務課・日本語教育委員会